

心育保育園の見学の感想

今回、心育保育園を見学させていただいて、園に到着した際、最初に行われていた朝の会の子どもの様子を見てから衝撃が止まりませんでした。

私は今まで実習やアルバイトにおいて、保育の現場に関わってきましたが、自由遊び中心の幼稚園や保育園しか見たことがありませんでした。それ故、子どもが保育者の声かけと同時に正座を行い、決まった場所に動くなど、子どもの統一感のある動きを見て驚きました。

また、子どもがフラッシュカードを行っているところを見るのも初めてでした。私はフラッシュカードは、写真や絵を使って何かを覚える為の方法の一つのようなイメージを持っていましたが、志道先生のお話を聞かせていただいて、フラッシュカードは子どもにとって勉強ではなく、遊びと同じような感覚で行っているということ、「X JAPAN」や「あしたのジョー」など、リズムよく笑いながら楽しめる工夫があり、覚えることだけが目的ではないことを学びました。

活動を行う際に「静」と「動」を意識することによって活動にメリハリができ、子どもの集中力を40分近くもの長い間保つことが出来るような工夫がありました。

保育の内容以外にも、保育者という仕事がみんなから憧れを持って見られるような仕事にしたいという志道先生のお話をお聞きし、心育保育園の保育者の方が着ていた服が、ジャージーやカラフルなエプロンのような動きやすさや、子どもに受けるかわいらしさを求めたような服装とは異なり、見た目があるだけでなく、オシャレで今までの保育者のイメージとは違うスタイルであったことに共感を覚えました。服装など見た目を変えることによって人に与える印象が変わるということを実感しました。

今■、心育保育園を見学させていただいて、子どもがフラッシュカードを行う場面や、7段の跳び箱に挑戦する姿を目の当たりにし、これまでの保育における私の体験とは異なる貴重な体験をすることが出来ました。とくに、フラッシュカードや百玉そろばんでは、学習することだけが目的ではなく、楽しみながら行うこと、物事を論理的に見られるようになることなど、さまざまな目的があることを学ぶことが出来ました。

この度は朝の早い時間から保育園見学をさせていただきありがとうございました。

本日の経験を生かし、今後も保育者になるために努力していきたいと思えます。

終わりになりますが先生方のご健康を心よりお祈り申し上げます。

心育保育園を見学して

私が心育保育園の見学をしてまず驚いたことは、私たち見学者への気遣いです。保育の現場にお邪魔させていただいた私たちに、保育者の皆様は机を出してくださったり、お茶やおしぼりを用意してくださったりしました。私たちをただの見学者ではなく、訪問客のように対応することで、保育者方が子どもの礼儀のモデルになっているのかもしれないと考えました。保育者の皆様が子どものモデルになっているのは礼儀だけではなく、保育の中で正座をするときにも、子どもたちの前にいる保育者の方だけではなく、子どもたちの周囲にいる保育者全員が背筋を伸ばして、子どもの見本になっていました。また、子どもたちは普段から保育者の姿を見て正座をしているからか、猫背の子どもが少ないように見えました。

次に、保育者の皆様の子どもに対する言葉がけの綿密さに驚きました。保育者の方が出席を取るために名前を呼ぶ際、一人ひとりの子どもに対して姿勢や声の大きさについて言葉がけをしたり、瞑想のときに全ての子どもに傍に行って言葉がけをしながら体調を確認したりしていました。ここまで子ども一人ひとりに目を向けた保育に、心育保育園の保育方法の良さが強く出ていると感じました。

フラッシュカードでは保育者の方がカードを次々めくり、子どもたちがスラスラ答えていました。保育者の方はただカードをめくるのではなく、カードに描かれた国の名産品を子どもに尋ねるなど、子どもが飽きずに考えるような工夫をしていました。

今回見学を受け入れてくださり、ありがとうございました。今回の見学で、子どもの主体性を尊重するだけではなく、憧れの存在として保育者が子どもたちの前に立つという保育方法を実際に見て知ることができました。この経験を、自分の保育観の形成につなげたいと思います。

みなさまに感謝申し上げますとともに、心育保育園のますますのご発展をお祈りいたします。

心育保育園見学レポート

この度は貴重な時間であるにもかかわらず、貴園を見学させていただきありがとうございました。見学をした午前中の保育活動内容はとても充実しており、先生方は時間配分や内容をすべてこなすことは大変であると思いましたが、子ども達にとってとても有意義な内容になっているのではないかと感じました。

まず、フラッシュカードを行うことによって、判断力や俊敏さが身についていることが分かりました。また、リズムカルに行うことで、先生が発する言葉の音や友達とリズムに合わせることの楽しさも感じる事が出来るということが考えられます。先生が楽しむことにより子ども達も楽しく行うことができることを改めて学びました

体育ローテーションでは、年少、年中、年長のほとんどの子どもたちが4段、5段、6段と徐々に高くなっていく跳び箱を跳び越える姿や、子ども達の集中力がある姿を見て驚きました。初めて跳び箱を跳ぶ子どもにどのように指導されているのか、その指導方法を学びたいと思いました。また指導する際、一度失敗した子どもに対し、次の挑戦で跳べるように自信を持てるようなはっきりとした力強い言葉掛けをしていることを感じました。先生のような言葉を子どもたちは真剣な表情で聞いていました。

運動の場面だけではなく全体を通して主となる先生を中心に、子どもたちの出来たこと、良かったところを見つけて、一人ひとりに言葉を掛けている姿が多く見られました。その言葉の中には、子どもの自信ややる気を無くさせてしまうようなネガティブな言葉掛けはありませんでした。私はこれまで、保育園等の実習において、子どものやる気を無くさせてしまうような言葉掛けをしてしまったのではないかと反省する場面がたくさんあり、今後の活動に向けて、とても勉強になりました。

そして子どもたちが私達に向けて歌った歌を聞かせていただいた際、とても感動しました。心にジーンと来て、感動のあまり涙が出てきてしまいそうになりました。それくらい、歌詞や子どもたちの歌う姿に強く惹かれました。発表会については日程が合い次第、是非、見学させていただきたいと感じました。

帰りがけに午後の自由遊びを少しだけ見させていただきました。午前中の、みっちり詰まったカリキュラムとは対照的に自由遊びの時間ももしっかり取り入れられており、メリハリがあることが理解できました。また、全体を通して非常に充実したカリキュラムになっていると感じていました。

今回、貴園の保育活動を見学させていただいて、このようにさまざまな面でとても勉強になりました。ありがとうございました。末筆ながら貴園のますますのご発展をお祈り申し上げます。